

Vestax Spin 2

取扱説明書

P.2~

OWNER'S MANUAL

P.17~

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
Web: www.vestax.jp E-Mail: cs@vestax.jp

Head Office
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan
Web: <http://www.vestax.com/>

Vestax Global Support
csg@vestax.jp

Vestax Europe Support
cse@vestax.jp

目次

| | |
|----------------------|----|
| ご使用上の注意 | 2 |
| 安全上の注意 | 3 |
| Spin2 の楽しみ方 | 4 |
| 付属品 | 4 |
| 推奨動作環境 | 4 |
| 各部の名称と機能 | 5 |
| Spin2 のセットアップ (Mac) | 7 |
| djay for Mac のセットアップ | 8 |
| Spin2 のセットアップ (iOS) | 9 |
| 接続例 | 10 |
| 基本的な操作 | 11 |
| 応用編 | 13 |
| サポート | 16 |
| 主な仕様 | 16 |
| 保証とアフターサービス | 16 |

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置 (モーター、調光器など) や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いてから行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

Spin2 の楽しみ方

【Mac で楽しむ】

djay for Mac をダウンロードし、インストールするだけで、すぐに Mac での DJ プレイを楽しむことができます。簡単な操作ながら、スクラッチ・LOOP・EQ・エフェクトといった本格的な DJ ミックスプレイができ、iTunes ライブラリにあるお気に入りの曲を使って楽しむことができます。

【iOS デバイスで楽しむ】

djay for iPad、djay for iPhone を別途ダウンロード（有料）することで、お手持ちの iPad、iPhone、iPod Touch と Spin2 を Dock ケーブルで接続し、DJ プレイを楽しむことができます。App の音声も Spin2 から直接出力することができ、更には iOS デバイスへの充電もされるので、バッテリーを気にせずにプレイを楽しむことができます。

付属品

- 取扱説明書（本書）
- USB ケーブル
- 電源アダプター（Vestax SDC-6）
- djay for Mac インストールガイド
- ユーザーカード
- 保証書

推奨動作環境

【Macintosh】

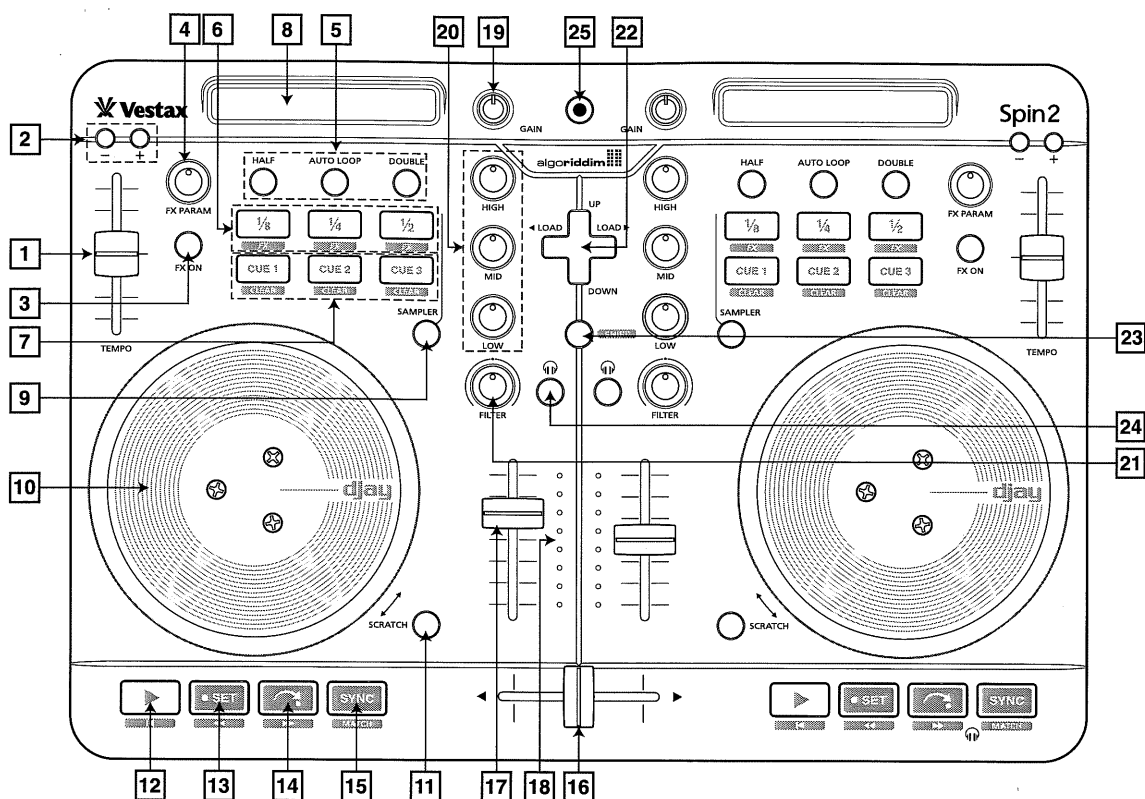
OS : Mac OS X 10.5 以上
CPU : Intel CPU 以上
RAM : 1GB 以上
USB2.0 ポート

【iOS デバイス】

iOS 機器 : iPad, iPad 2, 新しい iPad, iPhone 4, iPhone 4S, iPod touch(第4世代)
OS : iOS 5.1 以降

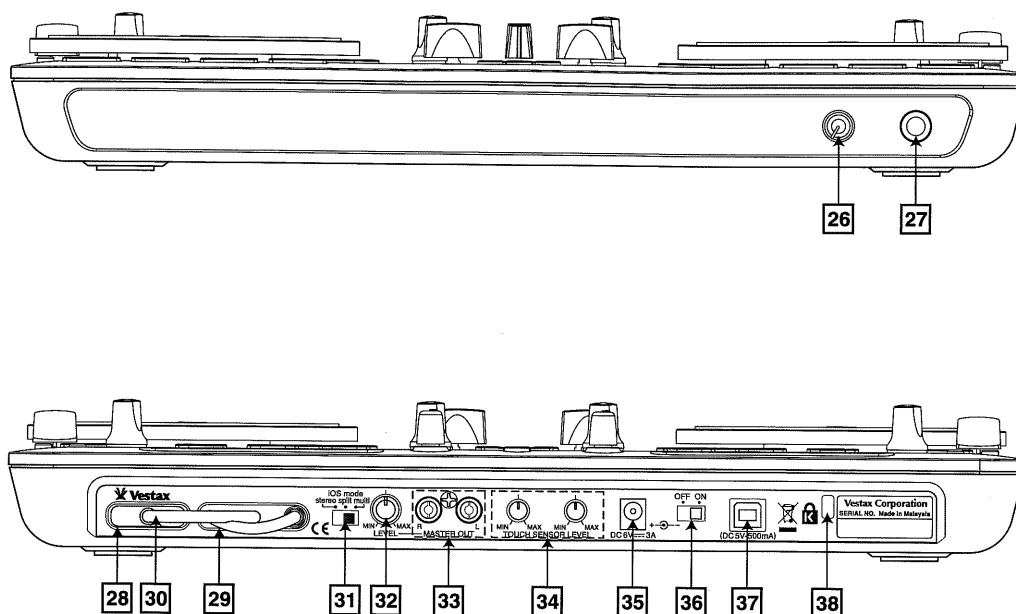
各部の名称と機能

TOP



| No. | 部品名 | 機能 |
|-----|-----------------|--|
| 1 | TEMPO フェーダー | 曲の再生スピードを調整します。 |
| 2 | PITCH BEND ボタン | 曲の再生スピードを微調整します。ボタンを押している間だけ曲のスピードが調整され、ボタンを離すと元のスピードに戻ります。 |
| 3 | FX ON ボタン | FX(エフェクト)のON/OFFを操作します。デフォルトでは「ECHO」がONになります。 |
| 4 | FX PARAM ノブ | FX(エフェクト)のパラメーターを調整します。 |
| 5 | AUTO LOOP エリア | AUTO LOOP機能をコントロールします。AUTO LOOP機能の使い方については、14ページをご参照ください。 |
| 6 | BOUNCE LOOP エリア | BOUNCE LOOP機能をコントロールします。BOUNCE LOOP機能の使い方については、14ページをご参照ください。 |
| 7 | CUE POINT エリア | CUE POINT機能をコントロールします。CUE POINT機能の使い方については、13ページをご参照ください。 |
| 8 | タッチストリップ | タッチストリップ部を指でなぞると、曲の離れたポイントに瞬時にアクセスすることができます。 |
| 9 | SAMPLER ボタン | SAMPLERボタンを押すとSAMPLERモードがONになり、BOUNCE LOOPエリア(「1/2」、「1/4」、「1/8」ボタン)、及びCUE POINTエリア(「CUE 1」、「CUE 2」、「CUE 3」ボタン)の合計6個のボタンがSAMPLER再生機能に切り替わります。もう一度SAMPLERボタンを押すと、通常のモードに切り替わります。 |
| 10 | JOG プラッター | レコードに触れるような感覚でスクラッチやバックspinが行えます。外周のプラスチック部分のみを触れて回すと、曲の再生スピードを微調整することができます。 |
| 11 | SCRATCH ボタン | JOGダイヤルを操作する時のモードを切り替えます。ONの時はスクラッチモード、OFFの時は高速サーチモードとなります。 |
| 12 | PLAY ボタン | 曲の再生と一時停止を操作します。 |
| 13 | SET CUE ボタン | CUE POINT (START POINT)をセットします。 |
| 14 | CUE PLAY ボタン | セットしたCUE POINT (START POINT)にジャンプし、プレイバックをします。 |
| 15 | SYNC ボタン | 反対側のデッキに読み込まれている曲のスピード(BPM)に同期します。再生中に押すと、BPMだけでなくタイミングも同期されます。 |
| 16 | クロスフェーダー | 左デッキと右デッキの音量バランスを調整します。 |
| 17 | インプットフェーダー | 各デッキの音量を調整します。 |
| 18 | インプットレベルメーター | 再生されている曲の入力レベルをLEDで表示します。メーターの点灯状態をみて左右のデッキの音量バランスを調整します。いちばん上の赤が強く点灯すると音がひずんでしまいます。 |
| 19 | GAIN ノブ | 曲の入力レベルを調整します。 |
| 20 | EQ(イコライザー) ノブ | 3つのつまみがそれぞれ、低音(Low)、中音(MID)、高音(HIGH)の調整を行います。 |
| 21 | FILTER ノブ | 右に回すとハイパスフィルター(高音だけが出力)、左に回すとローパスフィルター(低音だけが出力)が機能します。 |
| 22 | 十字キー | 上下(UP, DOWN)のボタンでソングリストから曲を選択し、左のLOADボタンを押すと左のデッキに曲が読み込まれ、右のLOADボタンを押すと右のデッキに曲が読み込まれます。 |
| 23 | SHIFT ボタン | SHIFTボタンを押しながら他のボタンを押すことで、異なる機能をコントロールすることができます。「SHIFT+」機能一覧は次頁に記載しています。 |
| 24 | MONITORING ボタン | ボタンを押すと、押した側のデッキの音がヘッドフォンから出力されます。この場合、インプットフェーダーが下がっていてもヘッドフォンには音が出力されます。 |
| 25 | REC ボタン | 録音が始まり、もう一度押すと録音が停止します。録音されたファイルはMacintosh HD > ユーザー > ミュージック > djayフォルダ内のRecordingsフォルダに保存されます。 |

FRONT & REAR



| No. | 部品名 | 機能 |
|-----|-----------------------|---|
| 26 | HEADPHONE LEVEL ノブ | ヘッドフォンの出力レベルを調整します。 |
| 27 | HEADPHONE OUT 端子 | ヘッドフォンを接続します。(端子形状: Φ6.3標準プラグ) |
| 28 | Dockコネクタ収納口 | 使わないときはDockコネクタをここに収納することができます。 |
| 29 | Dockケーブル収納口 | 使わないときはDockケーブルをここに収納することができます。 |
| 30 | Dockケーブル | iOSデバイス(iPad, iPhone, iPod Touch)を使用する際に、このDockケーブルをデバイスのDockコネクタに接続します。 |
| 31 | iOS mode スイッチ | iOSデバイス(iPad, iPhone, iPod Touch)を使用する際の音声出力設定を選択します。詳しくは本紙9ページを参照してください。 |
| 32 | MASTER OUT LEVEL ノブ | MASTER OUTからの出力レベルを調整します。 |
| 33 | MASTER OUT 端子 | RCAピンケーブルにて、出力機器(アンプ、パワードスピーカー、PAミキサー等)に接続します。 |
| 34 | TOUCH SENSOR LEVEL ノブ | JOGプлатターのタッチセンサー感度を調整します。右に回すと感度が強くなり、左に回すと弱くなります。 |
| 35 | 電源アダプター接続端子 | 付属の専用アダプター(Vestax SDC-6)を接続します。iOSデバイスを接続して使用する場合には、電源アダプターの接続が必要です。 |
| 36 | 電源スイッチ | 電源のON/OFFスイッチです。 |
| 37 | USB 端子 | お使いのコンピュータのUSB端子と接続します。※USB2.0ポート以上に接続してください。 |
| 38 | ケンジントンロック | ケンジントンロックを装着することができます。 |

SHIFT FUNCTION

SHIFT ボタンを押しながら特定のボタンを押すことで、更に異なる機能を実行することができます。

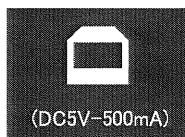
| No. | ボタン操作 | 機能 |
|-----|------------------------|---|
| S1 | SHIFT + 1/8 [6] | INSTANT FXの「Drift」が機能します。ボタンを押している間、ハイパスフィルターエフェクトがかかります。 |
| S2 | SHIFT + 1/4 [6] | INSTANT FXの「Sway」が機能します。ボタンを押している間、Flangerエフェクトがかかります。 |
| S3 | SHIFT + 1/2 [6] | INSTANT FXの「Crush」が機能します。ボタンを押している間、Crushエフェクトがかかります。 |
| S4 | SHIFT + CUE 1 [7] | 設定したCUE POINT 1を削除します。 |
| S5 | SHIFT + CUE 2 [7] | 設定したCUE POINT 2を削除します。 |
| S6 | SHIFT + CUE 3 [7] | 設定したCUE POINT 3を削除します。 |
| S7 | SHIFT + JOGプлатター [10] | SHIFTボタンを押しながらJOGを動かすことで、音を効果的にカットすることができます。 |
| S8 | SHIFT + PLAY [12] | 曲の頭に戻ります。 |
| S9 | SHIFT + SET CUE [13] | スキップ機能となり、曲の巻き戻しができます。 |
| S10 | SHIFT + CUE PLAY [14] | スキップ機能となり、曲の早送りができます。 |
| S11 | SHIFT + SYNC [15] | HARMONIC MATCH機能となり、反対側のデッキで再生中の曲のキー(音程)に合わせてくれます。 |

Spin2 のセットアップ (Mac)

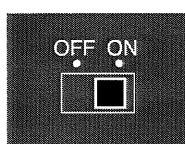
※文章中の番号は、「各部の名称と機能」(P5、6) 中の番号を表しています。

Spin2 には専用のドライバは不要ですので、USB ケーブルを接続するだけで簡単にインストールが可能です。

1. Spin2 とコンピューターの USB ポートを USB ケーブルにて接続します。(B7)



2. Spin2 の背面パネルにある、電源スイッチを「ON」に切り換えます。(B6)

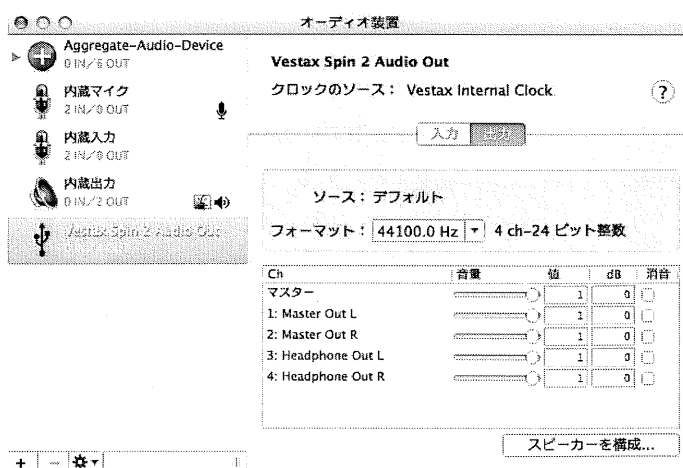


これでセットアップ完了です。

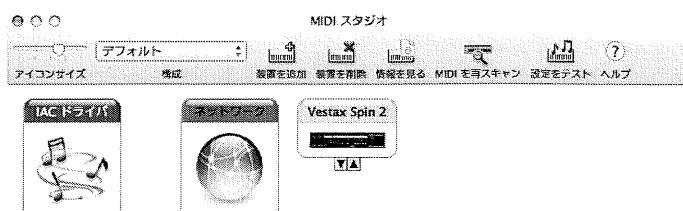
別途スピーカーやヘッドフォンを Spin2 に接続してください。(本紙 9 ページ参照)
※スピーカー、ヘッドフォン、オーディオケーブルは付属しておりません。

Macintosh 上にて Spin2 が認識されているかを確認するには、以下を確認します。

1. Finder > アプリケーション > ユーティリティから「Audio MIDI 設定」を開きます。
2. 「オーディオ装置」の項目に下図のように Spin2 が表示されます。



3. 次に、ウィンドウ > MIDI ウィンドウを表示から「MIDI スタジオ」を開き、下図の様に Spin2 が表示されます。



※djay for Mac ソフトウェアのインストールは別紙の「djay for Mac インストールガイド」を参考にしてください。

djay for Mac のセットアップ

- Spin2 を USB ケーブルでお使いのコンピューターに接続してください。
- Spin2 のリア・パネルにある電源スイッチを「ON」にしてください。
- djay for Mac ソフトウェアのインストールは別紙の「djay for Mac インストールガイド」を参考にしてください。

1. djay for Mac を起動します。
2. 「環境設定」メニューを開きます。(djay > 環境設定)
3. 「デバイス」タブをクリックして以下のとおりにオーディオ設定を行ってください。

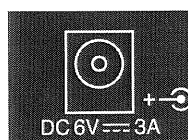


4. 「適用」をクリックしてください。

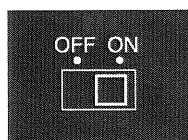
Spin2 のセットアップ (iOS)

Spin2 は iOS デバイス (iPad, iPhone, iPod touch) に接続して使用することが可能です。

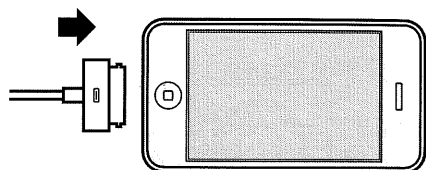
1. Spin2 に付属の電源アダプター (Vestax SDC-6) を接続します。(35)
(注意) iOS デバイスでの使用には電源アダプターの接続が必要です。



2. Spin2 の背面パネルにある、電源スイッチを「ON」に切り換えます。(36)

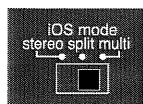


3. Spin2 のリア・パネルに内蔵されている Dock ケーブル (30) を iOS デバイスの Dock コネクタに接続します。
 ※コネクタの向きにご注意ください。



4. djay for iPad、または djay for iPhone を起動します。
 ※djay for iPad、および djay for iPhone は別途 App Store からお求めください。(有料)

5. Spin2 のリアパネルにある「iOS mode」スイッチ (31) で音声出力設定を選択します。

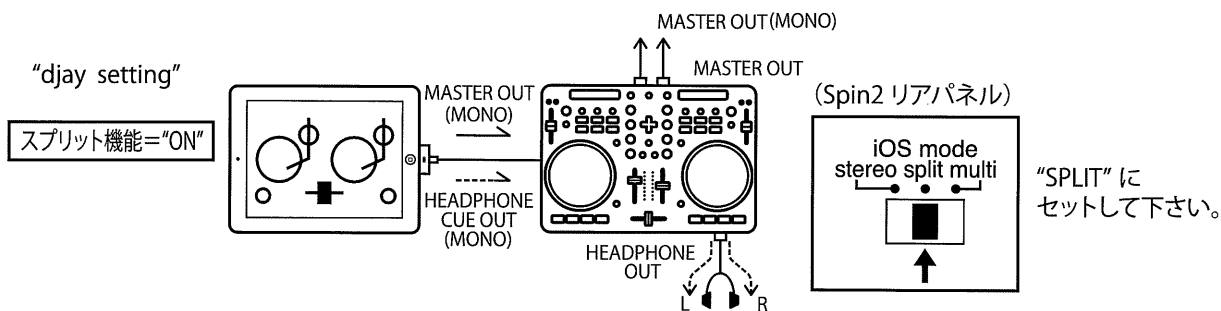


これでセットアップ完了です。
 別途スピーカーやヘッドフォンを Spin2 に接続してください。(本紙 9 ページ参照)
 ※スピーカー、ヘッドフォン、オーディオケーブルは付属しておりません。

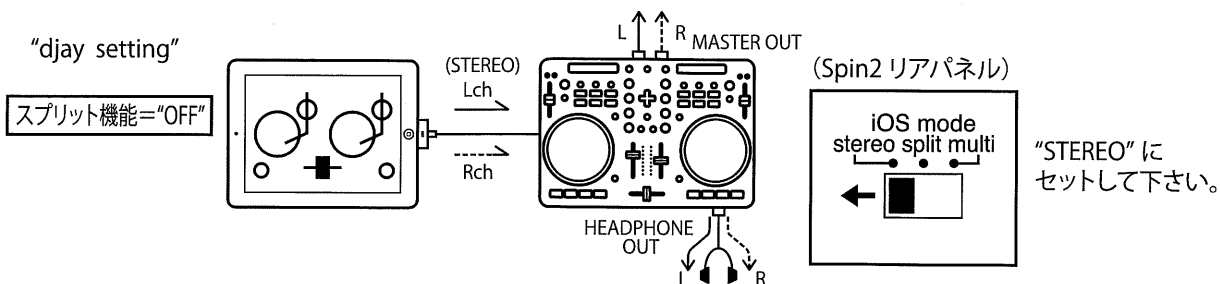
音声出力設定について

(補足)
 現行の iOS 5 では、「split」および「stereo」の 2 通りの出力設定が選択できます。(2012 年 8 月現在)

①split
 djay App のスプリット機能を使用し、2ch 音声出力をマスター出力とプレキューイング出力とに分けて出力します。
 L 側→マスター出力 (モノラル)
 R 側→プレキューイング出力 (モノラル)



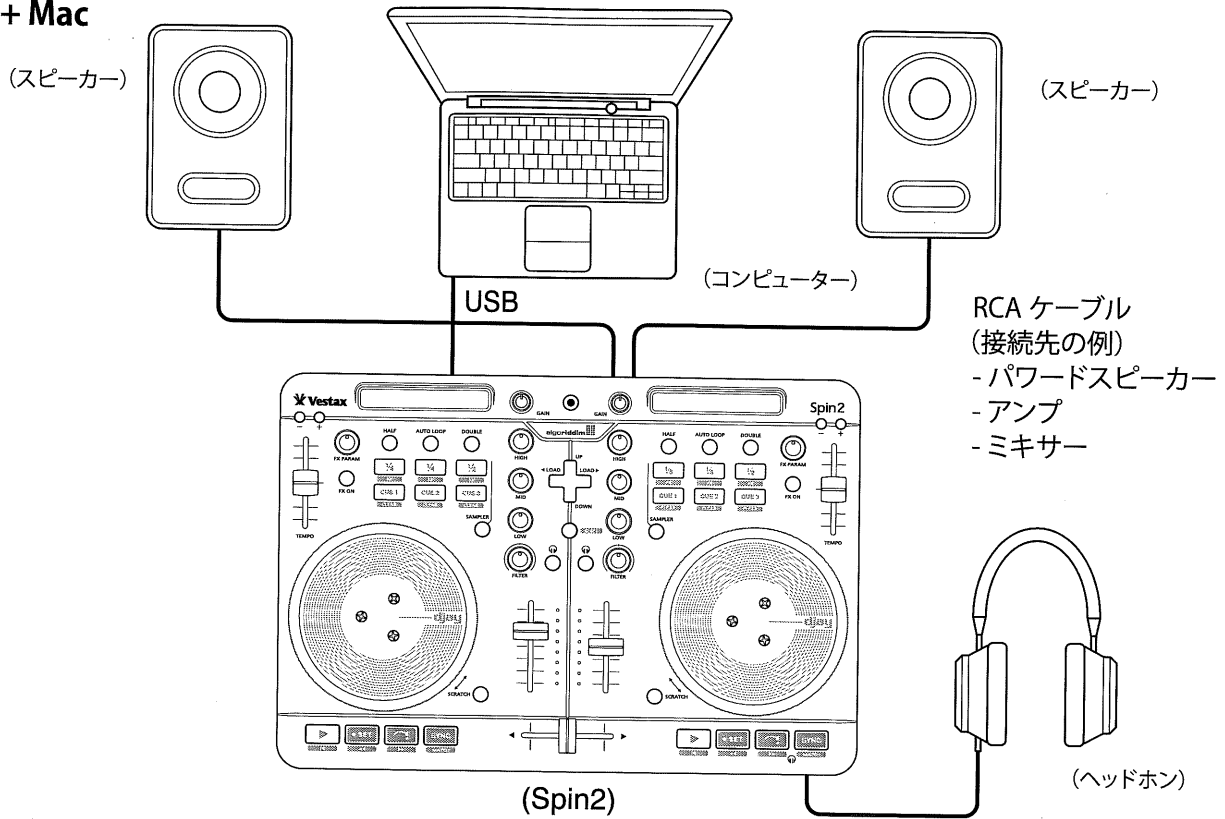
②stereo
 djay App からの 2ch 音声出力を、Spin2 を通して STEREO (L/R) で出力します。



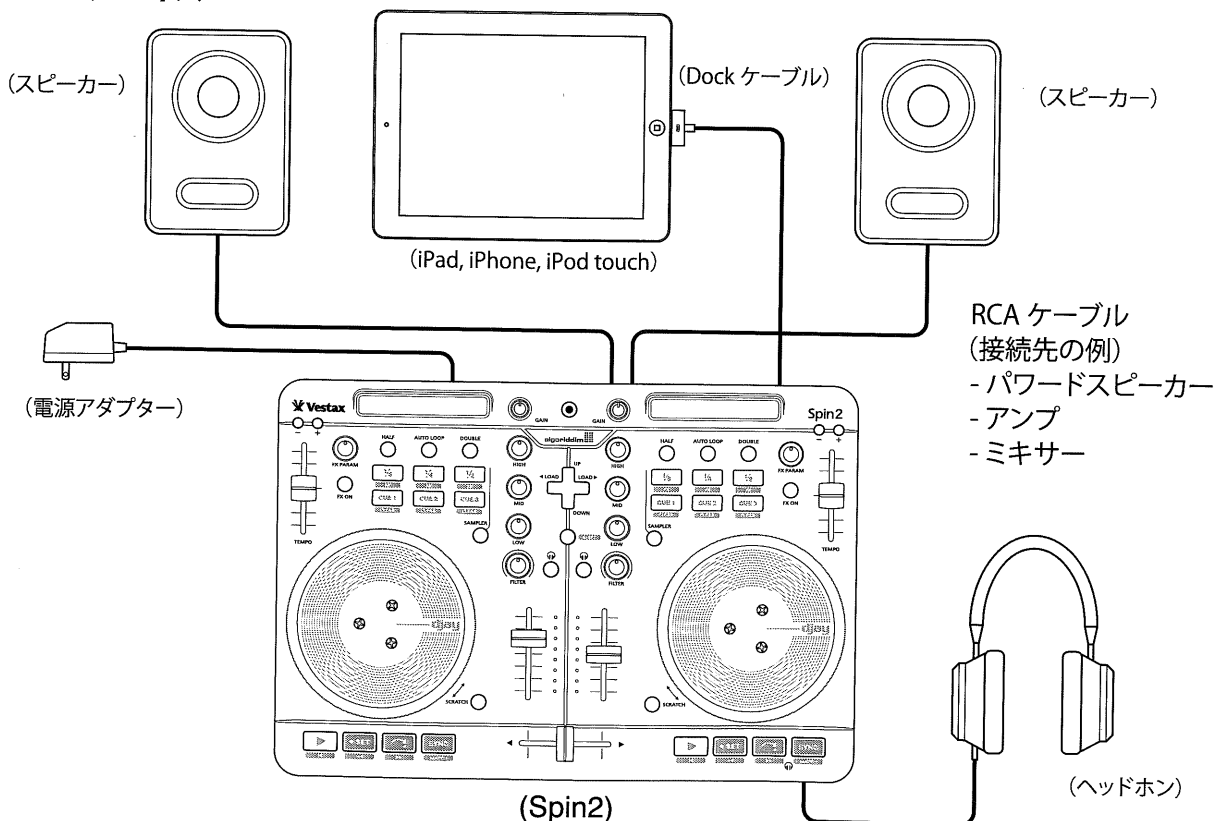
③multi
 iOS 6 以降の OS に関しては、Spin2 リアパネル内の「iOS mode」スイッチを「multi」に設定してください。

接続例

Spin2 + Mac



Spin2 + iOS デバイス



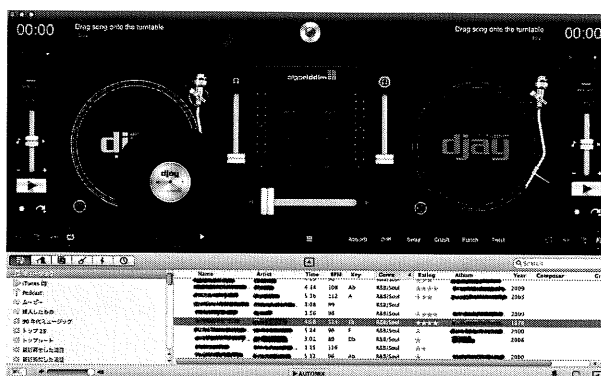
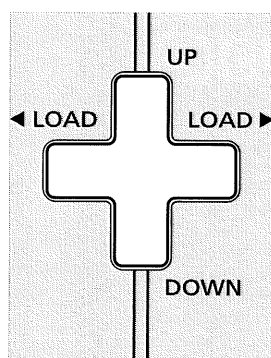
基本的な操作

※この取扱説明書では、djay for Mac を使った場合の操作方法をご紹介します。

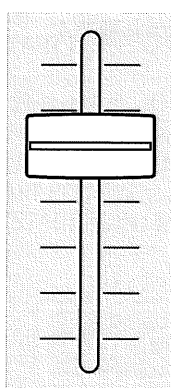
すべてのセットアップが終わったら、早速音を出してみましょう。
まずデッキ 1（左側のターンテーブル）に曲を読み込みます。

（注）Spin2 の左右のインプットフェーダー (17) が下がっていることを確認します。

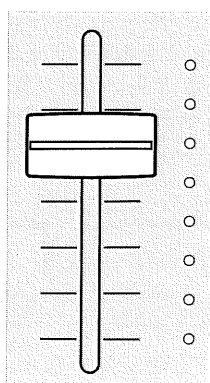
十字キー (22) の上と下を押しながら画面下の曲目リストからプレイしたい曲を選びます。
選択後、十字キーの左側 (LOAD) を押すことで、デッキ 1 に曲が読み込まれます。



クロスフェーダー (16) が左一杯にあることを確認し、少しずつ左側のインプットフェーダー (17) を上げてみます。
曲を読み込んだ状態で曲は既にプレイされていますので、インプットフェーダー (17) を上げると音が出ます。



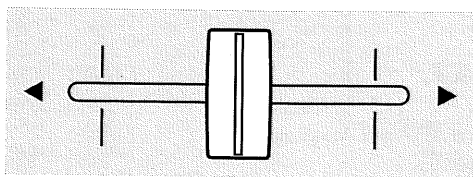
（音量が極端に小さい場合は GAIN ノブ (19) を調整してください。インプットレベルメーター (18) の、いちばん上の赤が点灯しない程度が最適な音量レベルです。）



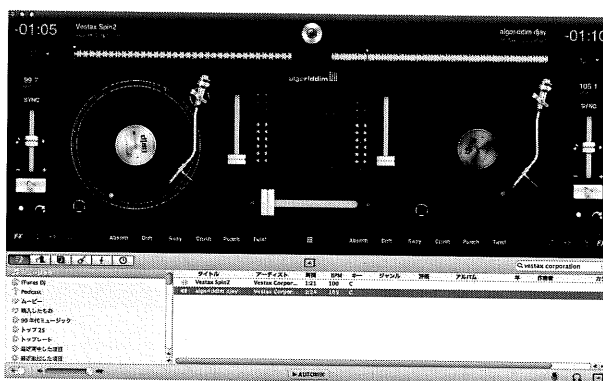
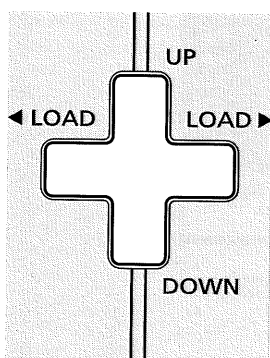
★ワンポイント

曲を読み込んだ時点でプレイ状態にさせたくない場合は、djayメニュー > 環境設定 > 一般 にある、「演奏を自動で開始する」のチェックを外してください。

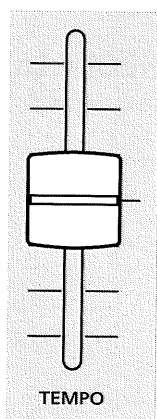
クロスフェーダー (16) にはデッキ 1 と 2 を文字通りクロスさせる機能があります。左一杯の位置にするとデッキ 1 のみの音、右一杯の位置にするとデッキ 2 のみの音が出力されます。クロスフェーダーを真ん中の位置にすると、インプットフェーダー (17) のバランスをとることでミックスも可能です。



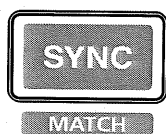
次に、先ほどと同じように十字キー (22) でデッキ 2 (右側のターンテーブル) にお好みの曲を読み込ませます。今度は曲を選択後、十字キーの右側 (LOAD) を押します。



これで左右 (1・2) のデッキから音楽が流れている状態です。右側のインプットフェーダー (17) を上げ、クロスフェーダー (16) を真ん中の方へ動かすと左右の音が混ざりますが、左右の曲のテンポが合っていない為、バラバラな音になってしまいます。本来はここでTEMPOフェーダー (1) を使用して左右の曲のテンポを合わせるのですが、これには技術と経験が必要です。



ここで、右側 (または左側) の「SYNC」ボタン (15) を一度押します。



デッキ 1 と 2 のテンポがそろいます。これで容易にミックスをすることが可能になりました。

★ワンポイント

「MONITORING」ボタン (24) を押すと、インプットフェーダー (17) が下がっている状態でも、ヘッドフォンで音を聞くことができるので、曲をあらかじめ確認したい場合に便利です。

応用編

1. CUE POINT

CUE POINTとは、曲をスタートさせる頭の位置のことです。スムーズなDJミックスプレイを行なうには、このCUE POINTの設定が必要となります。Spin2本体上のボタン(7、13)を利用して、1曲あたり最大で4つのCUE POINTをセットすることができます。



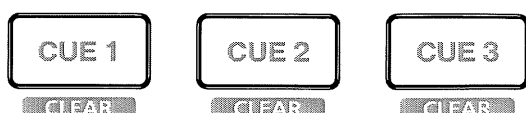
A) START POINTのセット方法

曲を読み込ませ、JOGプラッター(10)を回して曲の始まる位置を探します。
この時に、画面上の波形を見ながら操作するとわかりやすいです。
位置を見つけたら「SET CUE」ボタン(13)を押すとSTART POINTがセットされます。
(START POINTがセットされると画面上のレコード面に白い印がつきます。)
一度START POINTをセットすると、「CUE PLAY」ボタン(14)を押すたびにセットしたCUE POINTにジャンプします。



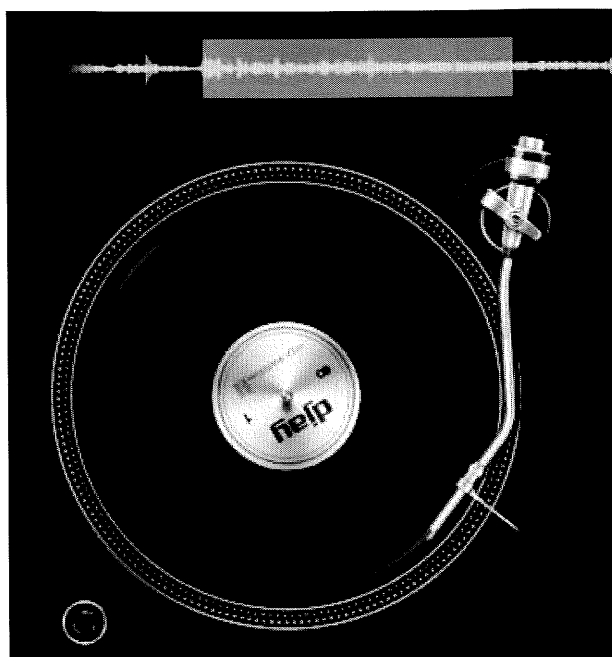
B) CUE POINTのセット方法

「CUE POINT」エリア(7)にある「CUE 1」「CUE 2」「CUE 3」ボタンを、曲のお好みの位置で押すとCUE POINTがセットされ、もう一度各ボタンを押すと、セットしたポイントからプレイバックします。
セットしたCUE POINTを削除する場合には、「SHIFT」ボタン(23)を押しながら「CUE 1,2,3」ボタンを押します。
(CUE 1~3がセットされると、画面上のレコード面に赤、緑、青の印がつきます。)
例えば、Aメロ、Bメロ、サビなどのポイントに分けてセットしておくミックス時に便利です。



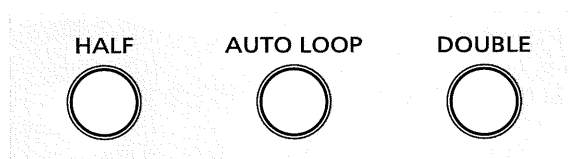
2. AUTO LOOP と BOUNCE LOOP

LOOPとは、曲の一部分を繰り返して再生する機能のことです。LOOPを織り交ぜることでよりクリエイティブなDJミックスが可能になります。



A) AUTO LOOP の使い方

「AUTO LOOP」エリア (5) にある「AUTO LOOP」ボタンを押すと、指定された拍数分の LOOP が組まれます。「HALF」ボタンを押すと LOOP の幅が半分になり、「DOUBLE」ボタンを押すと LOOP の幅が倍になります。もう一度「AUTO LOOP」ボタンを押すと AUTO LOOP が解除されます。

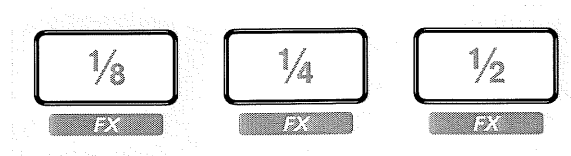


B) BOUNCE LOOP の使い方

「BOUNCE LOOP」エリア (6) にある、「1/8」「1/4」「1/2」ボタンをそれぞれ押すと、ボタンを押している間だけ指定された拍数分の LOOP が組まれます。

ボタンから指を離すと、曲が本来進んでいる位置からプレイバックします。

AUTO LOOP とは異なり、どのタイミングで操作をしても、曲の進行を崩さない LOOP プレイが可能になります。



3. FX (エフェクト)

djay for Mac には多彩なエフェクト機能が搭載されています。エフェクトを駆使することで、原曲に多彩なアレンジを加えることができます。

A) ADVANCED FX の使い方

「FX ON」 ボタン (3) を押すと曲にエフェクトがかかります。(デフォルトでは ECHO に設定されています)
 「FX PARAM」 ノブ (4) を回すとエフェクトのパラメーターを調整することができます。(ECHO の場合は残響音の幅が調整されます。)



FX PARAM



FX ON



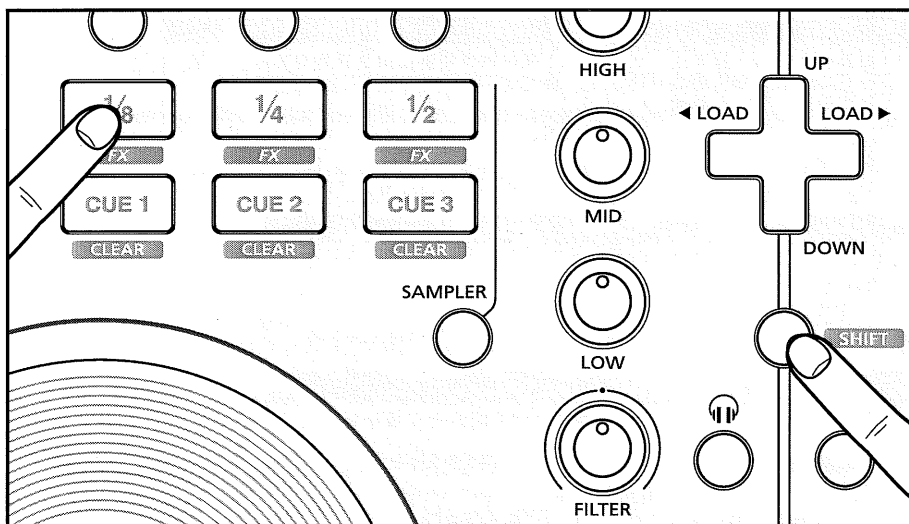
B) INSTANT FX の使い方

「SHIFT」 ボタン (23) を押しながら 3 つの「BOUNCE LOOP」ボタン (16) を押すと、INSTANT FX がかけられます。デフォルトでは下記のとおり INSTANT FX が割り当てられています。

「1/8」 ボタン: "Drift" (ハイパスフィルターエフェクト)

「1/4」 ボタン: "SWAY" (フランジャーエフェクト)

「1/2」 ボタン: "Crush" (音を歪ませるエフェクト)



サポート

トラブル・シューティング

①スクラッチができない。

- ・JOG プラッターの感度調整を行ってください。本体リアパネルにある TOUCH SENSOR LEVEL ノブ (34) で左右それぞれの JOG プラッターの感度を調整できます。
- ・SCRATCH ボタン (111) が ON になっているかご確認ください。

②PLAY ボタンを押しても曲が再生されない。

- ・JOG プラッターの感度が高すぎる可能性があります。本体リアパネルにある TOUCH SENSOR LEVEL ノブ (34) で左右それぞれの JOG プラッターの感度を調整できます。

③コンピューターが Spin2 を認識しない。

- ・コンピューターのスペック (仕様) が推奨動作環境を満たしているかご確認ください。(本紙 4 ページ参照)
 - ・別の USB 端子に Spin2 を接続してみてください。
 - ・USB ハブ等に接続されている場合は、直接コンピューターの USB 端子に接続してください。
 - ・別の USB ケーブルをお持ちの場合は、ケーブルを変えて試してみてください。
 - ・他に起動しているアプリケーション、無線 LAN、ウイルスソフト、常時起動ソフト、Bluetooth の使用を停止してみてください。
 - ・「MIDI スタジオ」から Spin2 のレジストリを一度削除してみてください。(本紙 5 ページ参照)
- Spin2 を接続していない状態で「Vestax Spin2」のアイコンをクリックし、「装置を取り除く」をクリックすると削除できます。

カスタマーサポート

最新のサポート情報はこちらからご確認ください。

ベスタクス・サポート・サイト

<http://help.vestax.co.jp/aj/>

主な仕様

寸 法 : 354(W) x 250(D) x 47(H)mm (突起部含む)

質 量 : 1.45kg

消費電力 : 17W (AC100V ~ 230V) ※iOS デバイス充電状態時

アダプタ : DC6V 3A (専用アダプター Vestax SDC-6)

保証とアフターサービス

保証書 (別添付)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みした後、大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げの日から 1 年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

この期間は経産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

- 製品の使用の問合せ及びサポート
お問い合わせ : cs@vestax.jp
web: <http://www.vestax.jp>
- 修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話 () -